

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第32号—

令和2年12月7日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

第2回スピーチ大会を開催しました

11月30日（月）、自分の考えを文章にまとめ全校児童の前で発表するスピーチ大会を開催しました。各学年から選ばれた代表児童が、1分程度のスピーチを堂々と発表することができました。

学年	代表者	発表題名
1年	小値賀新晃 里崎 星哉	まつぼっくりけんだま
2年	寄本 拓未	ゆうびんきょくを見学して
3年	大村 小雪	みんなで行った社会科見学
4年	浜本南々帆	「ブックトーク」ってなあに
5年	神田 蒼空	白神山地の自然を守る
6年	吉岡 勇真	人と人とは分かり合える



ふるさと教育の推進 ～地域とともにある学校を目指して～

旧中津良小学校の校舎が解体される前に、3日（木）、地域の方（区長さんやまちづくり協議会の皆さん）と一緒に、旧中津良小学校の校舎に残る教材・教具等の運び出しを行いました。校舎には、卒業記念品等、当時の思い出の品が残り、中津良小学校や地域への愛情の大きさをひしひしと感じました。その中から、中津良小学校にゆかりのある堀江恵美子さんの油絵2点を運び出し、津吉小の校舎へ再展示するようにしました。早福・堤・中津良地区の方の小学校にかける愛情や思いを津吉小学校でしっかりと引き継いでいきたいと思えます。

ふるさと津吉の「ひと・もの・こと」は、本校の有益な教育資産です。「ふるさと教育の推進」は、県教委や市教委の主要施策の中にも盛り込まれています。そこで学校では、各学年の学習内容と地域の人材・行事等が一目で分かる「地域カリキュラム」を作成し、地域の「ひと・もの・こと」を計画的・継続的に教育課程に取り入れるようにしました。

「ふるさと」への思いを原動力として生きる子供たちの育成に努めるとともに、「地域とともにある学校づくり」を目指していきたいと思えます。津吉小学校が、地域発展の核となるとともに、その発展を支える人材の育成に努めてまいります。

